

修学院小学校 学校評価の結果と分析 <後期編>

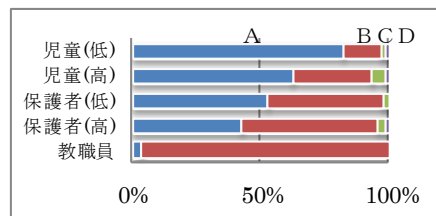
平成29年2月 校長 浦杉 伸介

学校では、12月に実施しました学校評価に関わるアンケートにつきまして、児童・保護者・教職員に分けて集計し、その結果について分析を加え、次年度の教育活動に向けて検討してきました。また、今回のアンケート結果につきましては、学校運営協議会の「開かれた学校委員会」においても、委員の方々と吟味してきましたので、合わせてお知らせいたします。

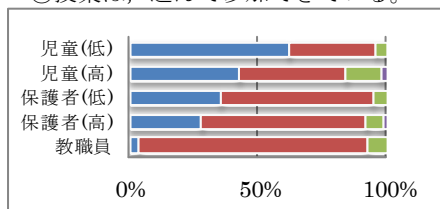
学校の様子

A…よくできている
B…大体できている
C…あまりできていない
D…できていない

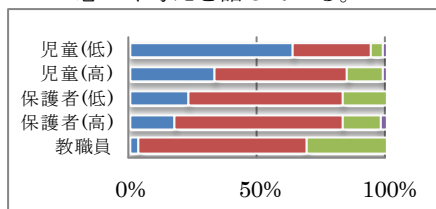
①楽しく学校生活を送っている。



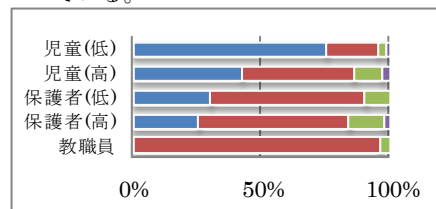
②授業は、進んで参加できている。



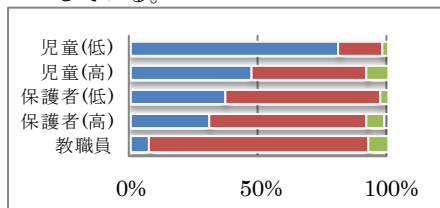
③先生や友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを話している。



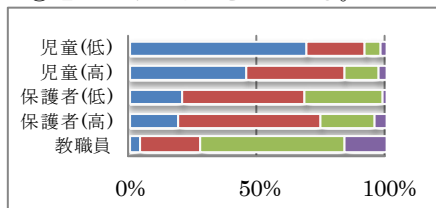
④学校の授業で、自分の学力が高まっている。



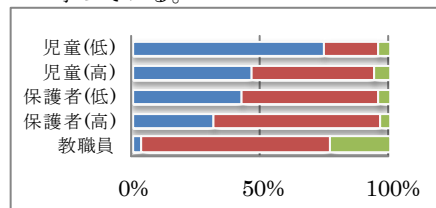
⑤誰にでも優しく接し、友達と仲良くしている。



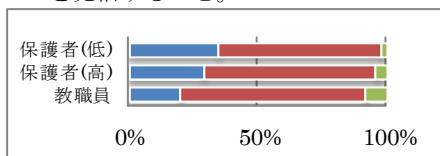
⑥進んであいさつをしている。



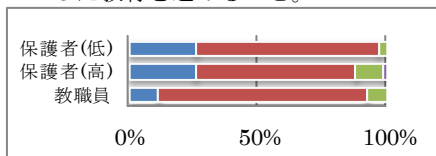
⑪学校や学級のルールや約束事を守っている。



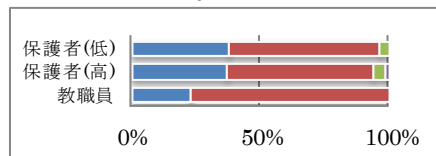
⑰学校が、教育方針や教育活動の情報を発信すること。



⑱学校が、一人一人の子どもを大切にしたい教育を進めること。



⑲学校が、子どもの安全のための取組を進めること。



分析及び来年度に向けて（学校の様子1）

*①「楽しく学校生活を送っている。」は、前期と同様、低・高学年ともに約95%の児童がA・Bと回答しています。これは学校教育目標「正しく 楽しく たくましく」の具現化に向け、日々の指導に取り組んできた成果であると考えます。今回、C・Dと回答した児童にもしっかりと目を向け、すべての子どもたちが「学校が楽しい。」と思えるよう、今後も、自尊感情の高揚を図るなど、めざす子ども像の実現に向けた教育活動を進めていきたいと思ひます。

*②③④について、授業に意欲的に参加し、話をしっかりと聞いたり、自分の思いを積極的に伝えられるようになったりした児童の割合が増えています。これは、問題解決的な学習を進めたり話し合い活動を授業の中に組み込んだりし、子どもたちが主体的に学べるよう工夫を重ねてきた結果であり、とくに高学年児童が自分の学力が授業を通して高まってきたと実感していることは大きな成果であると考えます。一方で、家庭学習（家庭の様子⑦）については、とくに低学年において保護者の方のマイナス評価が大きく増えています。学習内容の確実な定着を図るためにも家庭学習は大変重要です。今後も、日々の授業と連動した家庭学習を計画的・継続的に進めるとともに、個別指導にも取り組んでいきたいと思ひます。

*⑥「進んであいさつをしている。」は、高学年において児童・保護者ともに大きく改善されているという結果となりました。これは、学校だけではなく、見守り隊をはじめとする地域の皆様や保護者の皆様のご協力があったことだと考えます。ありがとうございます。ただ、教職員評価においては、まだまだ改善の余地がある結果となっています。引き続き、“自分から”挨拶できる児童の育成を目指して取り組んでいきたいと思ひます。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

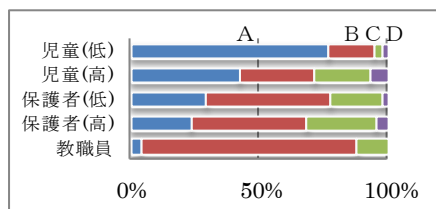
分析及び来年度に向けて（学校の様子 2）

*今年度は「安心して安全な教育環境を保障するとともに、自ら考え、安全に行動できる子どもを育む。」を重点目標の一つとし、「子どもの命を守りきる」ことを最優先に考え、「安全管理」の徹底を図るとともに、安全教育の充実を図ってきました。⑨において、高学年保護者のA評価が8ポイント近く上がっているのは、これらの取組に対して一定の評価を頂けたものであると考えます。引き続き、より実践的な態度を培っていけるよう取組を進めていきます。保護者の皆様をはじめ、地域のご理解とご協力を、今後ともよろしくお願い致します。

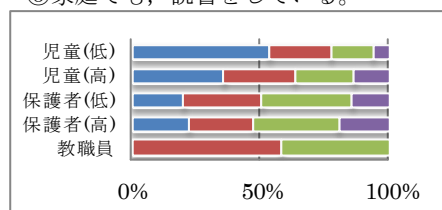
家庭の様子

A…よくできている
B…大体できている
C…あまりできていない
D…できていない

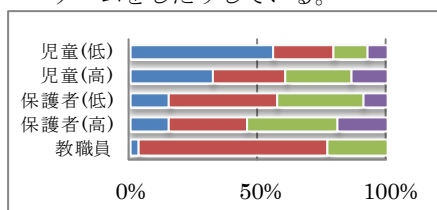
⑦家庭学習は、毎日できている。



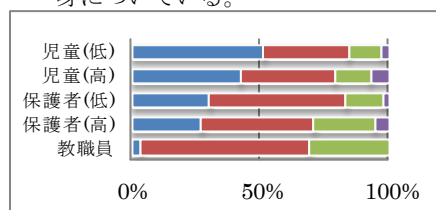
⑧家庭でも、読書をしている。



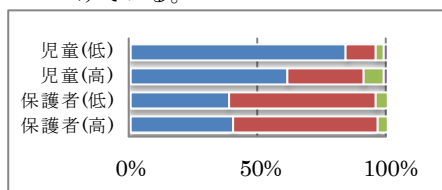
⑨時間を決めて、テレビを見たりゲームをしたりしている。



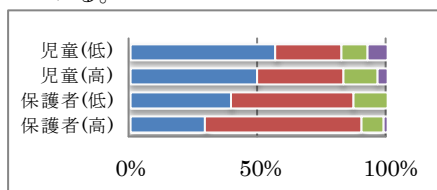
⑩早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。



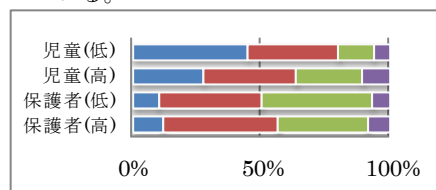
⑫登下校時や帰宅後も、安全に気をつけている。



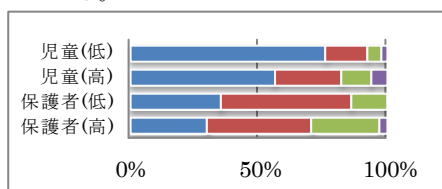
⑬学校であったことを、家庭で話している。



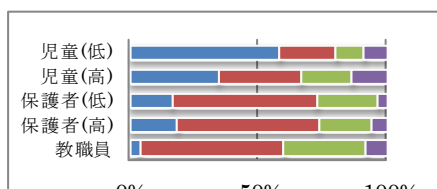
⑭家庭で、役割を決めて手伝いをしている。



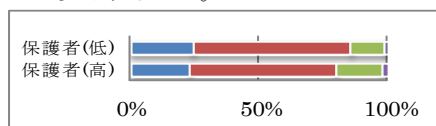
⑮外遊びなどで、体をよく動かしている。



⑯地域の行事や活動に参加している。



⑰授業参観や学校行事にできるだけ参加すること。



分析及び来年度に向けて（家庭の様子）

*⑧「家庭でも、読書をしている。」は、前期に比べると、とくに低学年においてDと回答した児童が増えています。学校での様子を見ていても、読書好きな児童が大変多い反面、何を選んだらよいのか分からなかったり読書に集中できなかったりする児童も少なからずいます。この課題を克服するためにも、おはなしきらら隊や図書ボランティア、地域の方々のご協力を得ながら、さらなる読書の質の向上と習慣化を目指し取り組んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

*⑨「時間を決めて、テレビを見たりゲームをしたりしている。」は、児童・保護者ともにマイナス回答の割合が増えています。また、⑩の基本的な生活習慣についても、とくに高学年において課題の残る結果となっています。様々な調査でも、ゲームや携帯電話が子どもたちの成長に及ぼす影響について報告されています。学校でも、外部講師による出前授業を行うなど、機会あるごとに指導を続けていきます。ご家庭におかれましてもご協力をよろしくお願い致します。

*⑭「家庭で、役割を決めて手伝いをしている。」は、前期と比べるとマイナス評価が増えています。とくに高学年では半数近くがC・Dとの回答です。学年が上がるにつれ、習い事などで時間の確保が難しくなるという側面もあると思ひます。しかし、たとえ小さなことでも、家族の一員としてその役割を果たすことは、今後社会の一員としてその責務を果たしていく上で大変重要になってきます。まずは一つ、無理なく続けられる簡単なことから始めてみてはどうでしょうか。

学校長より

「正しく・楽しく・たくましく」という学校教育目標に向かい、日々の学校教育を進めてきましたが、子どもの主体性の育成がこれからの成長に大いに関わると考えています。学習面では自ら課題を見つけ、自ら学ぶ姿勢を築くこと、行動面では、自ら危険を察知し、安全な行動をとること…というように、これは一例ですが、いずれも「自ら」取り組むことが、自己の内面的な発達につながります。子どもたちは、指示されたことはよくがんばりましたが、「自ら進んで」というレベルに達することは、これからの課題です。今後、さらに子どものやる気を育む教育活動の必要性を感じています。

重要度の分析結果

		(%)			
		重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
学校の様子	①楽しく学校生活を送っている。	97.5	2.5	*	*
	②授業は、進んで参加できている。	87.9	12.6	*	*
	③先生や友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを話している。	90.5	9.5	*	*
	④学校の授業で、自分の学力が高まっている。	91.1	8.6	*	*
	⑤誰にでも優しく接し、友達と仲良くしている。	86.9	12.8	0.2	*
	⑥進んであいさつをしている。	84.3	15.5	0.2	*
	⑦学校や学級のルールや約束事を守っている。	88.8	11.2	*	*
	⑧学校が、教育方針や教育活動の情報を発信すること。	54.1	42.3	3.2	*
	⑨学校が、一人一人の子どもを大切にした教育を進めること。	79.0	20.8	0.2	*
	⑩学校が、子どもの安全のための取組を進めること。	88.6	10.8	0.6	*
家庭の様子	⑦家庭学習は、毎日できている。	70.1	27.5	2.3	*
	⑧家庭でも、読書をしている。	54.9	41.5	3.4	0.2
	⑨時間を決めて、テレビを見たりゲームをしたりしている。	64.9	31.9	3.2	*
	⑩早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。	84.9	14.3	0.9	*
	⑫登下校時や帰宅後も、安全に気をつけている。	94.5	5.3	0.2	*
	⑬学校であったことを、家庭で話している。	90.0	10.0	*	*
	⑭家庭で、役割を決めて手伝いをしている。	58.4	38.7	3.0	*
	⑮外遊びなどで、体をよく動かしている。	71.9	27.9	0.2	*
	⑯地域の行事や活動に参加している。	46.0	47.4	6.4	0.2
	⑰授業参観や学校行事にできるだけ参加すること。	56.4	39.3	4.3	*

開かれた学校委員会より

◇ … 委員さんからのご意見 → … 学校より

◇「挨拶するんやで。」と教えている高学年児童を見かけたことがあります。素晴らしいと思いました。挨拶については、きらら通信等で呼びかけされていますが、地域の方も意識できるので効果的だと思います。

◇放課後まなび教室にお迎えに来る保護者の方が、挨拶をされずに入ってくるということがあります。→登校時など、こちらからすれば必ず返ってきますが、“自分から”という点ではまだまだ課題があります。まずは、大人がしっかりと手本を示していきたいです。

◇なかよしの日には、どのような取組をされているのでしょうか。

→毎月人権にかかわるテーマを設定し、学級の中で話し合っています。みんなで考えたことは玄関ホールに掲示して全校に発信するなど、そこだけで終わらず、みんなが行動していけるような工夫をしています。

◇100周年記念式典での子どもたちの態度は立派でした。とても落ち着いていますね。

→切り替えがとても上手で、状況に応じて行動することができます。その反面、廊下を走ってしまうなど、分かっていることがなかなか実践に結びつかないということもあります。根気よく指導を続けていきます。

◇放課後まなび教室での様子を見ると、時間を意識しての行動がまだまだできていないように感じます。とくに高学年は時間を決めて課題に取り組むという習慣をつけていく必要があると思います。

→中学校の先生からも指摘されたことがあります。卒業の時点でどのような力が必要なのか、中学校とも連携を取りながら確認し、見通しを持って指導にもあたりたいと思います。

◇お手伝いについて、特に高学年の子どもたちは時間の確保が難しいのではないのでしょうか。

◇放課後まなび教室に登録する高学年児童の数も以前より減少しています。また、登録していても参加しない児童も増えています。

◇十分に外遊びができる場も減ってきてはいるが、遊びの中で学ぶものや得るものも多いので、大切にしたい。

◇お手伝いと構えずに、新聞を取ってきたり自分が使った食器を下げたり、できることを無理なく続けることが大切です。そうした中で、家族の一員としての自覚が芽生えればよいですね。

◇時代の変化とともに子どもたちを取り巻く状況も変わってはきているが、保護者の方は、親としての自信をもって子育てに臨んでほしい。保護者自身がしっかりとした考えを持つことが大切だと思います。